

5. 共催・協力事業

ボランティア・NPO 活動センターには、さまざまな地域団体や行政などから事業への協力依頼があります。センター内でどのように関わっていくのかを検討し、多くの場合、学生スタッフやコーディネーターが協働でそれらの依頼に対応しています。

事業名	NGO スタディツアー合同説明会
日時	夏季ツアー説明会：2017年6月17日（土）13時30分～17時00分 冬季・春季ツアー説明会：2017年11月18日（土）13時30分～17時00分
場所	夏季説明会：龍谷大学 大阪梅田キャンパス 研修室 冬季・春季説明会：龍谷大学 大阪梅田キャンパス 研修室
実施主体（共催）	特定非営利活動法人 関西 NGO 協議会、株式会社 マイチケット ボランティア・NPO 活動センター
参加人数	夏季 73名／冬季・春季 51名

1. 経緯・目的

センターには年間を通して「海外でのボランティアに関心がある」「長期休暇中にスタディツアーに参加してみたい」「どんなスタディツアーがあるのか知りたい」という学生が多く来室します。

そこで、センターの提携団体である（特活）関西 NGO 協議会と、海外体験学習プログラムでも各種手配に携わっている（株）マイチケットとの共催で、スタディツアーを企画している NGO を集めて合同説明会を2009年度より年2回開催しています。

2. 概要

(1) 13：45～14：00

「スタディツアーって何？あなたにぴったりのスタディツアーって？」スタディツアーの概要についてマイチケットスタッフより説明していただきました。

(2) 14：00～17：00

「各ブースで説明を聞こう！」

参加 NGO（別表）が会場内にブースを設け、それぞれの企画するスタディツアーについて説明しました。参加者はそれぞれ関心のある団体のブースを訪問し、団体の取り組みやツアー内容などを個別に質問します。出展団体以外のチラシや団体パンフレット等も設置し、参加者が手に取って比較・検討できるようになっています。

3. 参加者の声・得られた効果など

・大学生のうちにボランティアに行きたい！と
思っていて、その思いで今回この説明会に参加しました。

各団体から様々な話を聞くことができ、さらに行きたいという気持ちが高まったし、もっと自分にできることを考えていこう！と思いました。

	ブース出展団体（主な活動先）
6月	<ul style="list-style-type: none"> ・ ICYE ジャパン（インドネシア） ・ アクション（フィリピン） ・ アクセス－共生社会をめざす地球市民の会（フィリピン） ・ ウータン・森と生活を考える会（インドネシア） ・ CFF ジャパン（フィリピン・マレーシア・ミャンマー） ・ アーシャ＝アジアの農民と歩む会（インド） ・ ツナミクラフト（タイ） ・ PHD 協会（ネパール・インドネシア・ミャンマー） ・ テラ・ルネッサンス（カンボジア） ・ マイチケット ・ 関西 NGO 協議会（NGO 相談員） 計11団体

11月

- ・アクション（フィリピン）
 - ・アクセス－共生社会をめざす地球市民の会（フィリピン）
 - ・アーシャ＝アジアの農民と歩む会（インド）
 - ・CFJ ジャパン(フィリピン・マレーシア・ミャンマー)
 - ・ツナミクラフト（タイ）
 - ・PHD 協会（タイ）
 - ・緑の地球ネットワーク（中国）
 - ・関西 NGO 協議会（NGO 相談デスク）
 - ・マイチケット（旅行相談デスク）
- 計9団体

- ・ 今日、実際に体験されたスタッフの皆さんのお話を聞き、参加したいという気持ちがより一層高まりました。一人が不安、英語が苦手ということが不安でしたが、このようなことは「関係ない」と思えるようになりました。
- ・ 興味が少しある程度で、話だけでも聞いてみようかという気持ちでしたが、実際に話を聞いて、面白そう！やりたいことができるかも！と思い、参加したい気持ちが強くなりま



した。スタッフとして参加していた学生達がとても充実した顔をしていて、優しく丁寧に教えてくれました。今回この説明会に参加できてよかったです。

4. コーディネーター所感

時間的に余裕のある学生時代に、自分の目で世界を見て視野を広げてほしいと、学内では立て看板や SNS で積極的に参加を呼びかけています。

現地の人々と継続して交流している NGO が企画・引率するスタディツアーは、一般の観光旅行とは違って暮らしの中に入って、現地の人や支援者の方々と直接触れあえるのが大きな魅力です。自分の生き方を見つめ、新たな可能性を開く扉になるはずです。ツアーを通して、たくさんの場所と人に出会って、人生の糧としてもらえればと思います。

多くの NGO が一堂に会し、スタディツアーの魅力がたっぷり聞ける合同説明会の魅力を、もっと知ってもらえるよう、引き続き広報に力を入れていきます。

〈報告者：古澤 登美代

（瀬田キャンパス コーディネーター）〉

事業名	セーフトラベルセミナー
日時	2017年4月25日（火）10時00分～17時00分
場所	龍谷大学 大阪梅田キャンパス セミナールーム
実施主体（共催）	特定非営利活動法人 関西 NGO 協議会、株式会社 マイチケット ボランティア・NPO 活動センター
対象	大学・高校および NGO のスタディツアー、海外研修、 フィールドワークの企画担当者
参加人数	25名

1. 経緯・目的

海外での「体験学習プログラム」や「スタディツアー」の目的地は感染症発生地域であり、思わぬ事故が発生する可能性もあります。感染症・事故に対する危機管理・対応は、海外での体験学習プログラムやスタディツアーを企画・運営する大学や NGO にとって避けて通れない課題であるといえます。また、「体験学習プログラム」や「スタディツアー」には、様々な目的意識や背景、特性をもった参加者が参加することから、参加者の状況を把握し、充実したスタディツアーを運営するために、具体的な事例や最新情報から企画・運営・引率担当者が学び合うことが求められます。そこで、安全でより充実した「体験学習プログラム」や「スタディツアー」実施の為に、大学の海外体験学習・実習や NGO のスタディツアーの企画・運営・引率担当者のレベルアップを図ることを目的として、セーフトラベルセミナーを年に1回開催しています。関西を拠点とする国際 NGO の連合体である特定非営利活動法人関西 NGO 協議会、スタディツアーを数多く主催し実績のある株式会社マイチケット、そして龍谷大学との三者共催で実施し、医師と旅行保険、旅行業法のスペシャリストを講師に招いて学びを共有しています。

2. 概要

(1) 第一部 10:00～13:00

(基礎編) 基礎から学ぶ危機管理

講師：榎戸健次郎氏（元日本キリスト教海外医療協力会ネパール派遣医師）
副島大典氏（AIU 損害保険株式会社）
山田和生氏（株式会社マイチケット）

- ・旅行保険の基礎知識
- ・感染症の基礎知識
- ・旅行業法の基礎知識
- ・質疑応答

(2) 第二部 14:00～17:00

(テーマ編) 「テロ」との正しい向き合い方

講師：山田和生氏（株式会社マイチケット）
榎戸健次郎氏（元日本キリスト教海外医療協力会ネパール派遣医師）
副島大典氏（AIU 損害保険株式会社）

- ・正しくこわがる
- ・「テロ」情報の読み解き方
- ・こんな時、催行？中止？
- ・「テロ」と「キャンセル料」
- ・「不安」に対して「何ができるのか」

3. コーディネーター所感

体験学習プログラムに参加する学生に対して、説明会の段階で、海外ツアーに参加するにあたっての危険や、注意を詳しく説明する必要があります。「何かあったら早め早めの連絡を！」を徹底しておくこと、対応が遅れることにより命の危険があることをしっかり伝えなければ取り返しがつかない事態を招くことを学びました。事業を担当しているコーディネーターだけでなく、全員がしっかりと危機管理意識をもっている必要があります。また、留学や海外体験に関わる部署ともこういった学びを共有していきたいと思います。

〈報告者：古澤 登美代
（瀬田キャンパス コーディネーター）〉

その他協力

センターでは、これまで報告してきた事業以外にも、昨年度宣言した、「大学のまち京都 災害ボランティアに係るパートナーシップ宣言」に基づき、京都市社会福祉協議会が実施する京都市災害ボランティアセンターの活動への協力を行いました。

■「災害ボランティア講座」の実施

京都市社会福祉協議会主催の災害ボランティア講座に協力し、基礎講座への参加呼びかけを行うと共に、実践講座を学内で実施をしました。

●基礎講座

開催日時：7月8日（土）18時30分～20時30分

場 所：ひと・まち交流館京都 3階第4・5会議室

内 容：・防災の基礎知識【講義】
 ・災害ボランティアの基礎知識【講義】
 ・災害ボランティア体験談
 （政策学部4回生の南山裕紀さんが発表）

★この基礎講座は、パートナーシップ宣言を行っている他大学の学生も一緒に受講しました。

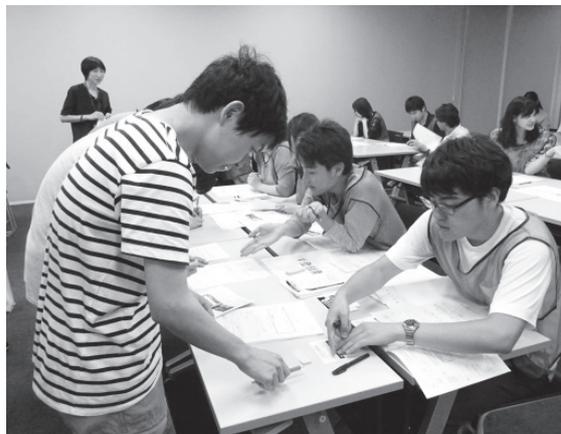


●実践講座

開催日時：7月13日（木）17時30分～19時30分

場 所：深草キャンパス 和顔館 B208教室

内 容：・災害ボランティアセンターについて【講義】
 ・災害ボランティアセンターの運営訓練【演習】
 ・学生サポーターについての説明
 ※災害サポーターは、実践講座受講者のみ登録できる制度で、この講座に出席して、希望すれば、登録することができます。



■「平成29年7月九州北部豪雨災害ボランティア募集」

平成29年7月九州北部豪雨災害で甚大な被害があった大分県日田市に、京都市社会福祉協議会が8/7（月）～8/10（木）の日程で、ボランティアバスを運行することになり、その参加者募集の呼びかけに協力しました。